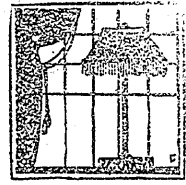


刊夕日五拾月貳拾

常磐寄目新聞

定価 一冊五錢 一月五拾五錢 郵費五錢
 廣告料 五號十二字 一行五拾五錢
 日曜 祭日の翌日 休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社



傳明に訊く 座談會

ものがあひませう。

大河内傳次郎、片岡千

出席者
 鈴木傳明
 橋六郎
 河田正樹
 福島民報 島田春雄
 本社 梅崎安彦

蒸氣船の發明は米國のフルトン書家出身一八〇三年に英國のステブソン一八二五年に機關車を發明す

現代映畫界を論ず。
 鈴木 東北人は一般に訛りが多く「ひ」と「し」の區別が出来ず「はひふへほ」の發音が明瞭でないのではト一キーには適しません。無聲時代の人氣俳優もト一キーには敗北を喫する



ハシカの話

市原市 卯原太郎 (一)

平地方の麻疹は本年十月頃よりぼつ／＼流行し、漸次罹病者が多くなり、現今は最も旺盛期とも申しませう。平尋小一二年生は一組三分の一程の休學生を出したと聞きます。そこで私は此の麻疹に就て業務柄話をしたいと思

麻疹は主として小兒を侵かすところの急性傳染病でありまして、固有の熱型、發疹、及粘膜炎の加答兒を呈します。原因ハシカの病源は尙ほ未だ明かではありませんが、れど、人類は殆んど皆な感受性を有して居ります。大人の小兒に比して之に罹ることの遙かに稀なるは多くは小兒時代の既に之を経過したるに因るのであります。去れば未だ本病を見ざる一孤島に船舶を寄せ病毒を輸

代劇ほどには暴露されな

いで済みますが。

監督の第一人者は誰で

せう。

鈴木 矢張り伊藤大輔でせ

うね。

【朝】紅茶 ミルク

トーストフルーツ

サラダ

【晝】親子丼

【晚】甘煮 おろしく

わい／＼と 酢の物

かき／＼と 芋二杯

酢

…立 献 の 日 明…

A 伊藤大輔のは大抵見て

るますが流石に感心しま

すね。

鈴木 まあ、現代最高の名

監督と稱し得るでせう。

それから村田實、衣笠貞

之助、島津安二郎、牛原

入したる時は、其全島民は

老幼を問はず、悉く之に罹

りたるとの事も聞きました

半歳以下の哺乳兒は本病に

侵さるゝことは比較的稀有

であります。若し妊婦の本

病に罹りたる時は胎兒は之

に感染するのであります。

接種試験して本病の傳染病

毒は血液、涙液、鼻汁、咯痰

及皮膚水泡の内容にあるので

あります。發しん消散後

の落屑中には傳染力が全く

無きか或は甚だ稀れであり

祝七五三

可愛いお祝靴色々取揃てあります。御用命の程を……六〇………式〇〇まで

菊地靴靴店

電話六五九

國は日本、凍魚はヒノマル
凍魚
 本日産水特約發賣元
 平製氷株式會社
 電話二二八三〇番
 平町代理店ト印魚問屋
 電話一八二五番

洋食
 茶會
 エビフライ
 ビフテキ
 コンパル
 電話六六六

市原産
魚問屋
 最優最大日本生命平代理店
 志賀盛榮
 平町四丁目(電話二一三)

透明障子紙
 意匠登録 第三四七八號
 ▼本品は室内用、室外用の二種あり
 ▼室内用は張方従来の通り生糊にてよろし
 ▼室外用は特に室外用ノリにて張ればよろし
 ▼本品は硝子、セルロイド以上の優秀點を具備す
 ▼雨と風との神様が兩神一緒に暴れても室外用は平氣なり
 ▼現品は普通障子紙巾にて(長さ九メートル)
 ◎定價
 ▼室内用 六十錢
 ▼室外用 八十錢
 ◎室外用ノリ 一罐 二十錢
 平町四丁目
夕伊勢屋 阿部商店
 電話四五番

貸切の御用命は！
 電話六四〇番
尼子タクシー
 是非お願いいたします
 遠乗りには特に御相談に應じます

いよく俺の世界が来た！(白熊の喜び)



遞送物を届けて

名も告げず

奇特な運轉手君

平局遞送人の難を救ふ

平郵便局の遞送人東海林龜七(君)は本十五日午前八時半頃自轉車で永戸村合戸局へ郵便物を届けての歸途箕輪村成澤地内縣道を通行中三間餘の谷間に墜落岩石に頭部を強打して人事不省となつて居たのを折よく通合したトラックの運轉手が發見し負傷者と遞送品をトラックに乗せ久保町の實家に送り届け更に同九時頃平局に右遞送品を届けて名も告げず立去つたが平局では驚へて東海林君を高久病院に入院せしめ一方遞送物の汽車積を間に合して呉れた奇特な右のトラック運轉手君を極力捜して居る

二勇士勳功

けふ役場に

平町出身獨立山砲第二

付された

少年の中途ご折は

父兄にも罪がある

特に本年は此點に鑑み

職業指導の相談

平町各小學校に於ける來春の卒業生中就業希望の兒童數は既報の如く合計二百六名であるが年々折角希望を抱いて實社會の舞臺に登場しながら僅か一、二ヶ月で職を止めるものも少くないので是れは子供の職業に對し一般父兄達の認識不足も原因であると爲し今年も萬全を期す爲め近く原校に父兄達を招き種々懇談する

就職に就き遺憾なきを期してそれ／＼慎重協議した才判書記着任 既報福島地方才判所から平區才判所檢事局に榮轉された書

便利な債券保管

平局で來月十五日から開始

關東大震災で中止されて居た貯金局の證券保管事務が復活されるので平局では一月十五日から取扱ひを開始するが是は國債及び勸業債券等の所有者が自宅に保管する不安と不便を除き所有者に代つて貯金局の大金庫

屋、前町記故明智淺吉兄弟紺屋町は住吉屋、材木町は柏屋さん兄弟、そして鍛冶町からは釘屋の萬さん、古鍛冶からは鹽屋の文平さん

高麗橋を中心として

(37)

眞木翁の懷古事談

千之學舎の塾生達、長屋の總門を教室、三丁目裏の養福寺の稽古所は、明治三年二月の劫火に焼失したので、六間門の自宅を家塾として、生徒を收容した。此家塾には千之學舎なる名稱が附されあつたが、之を標榜した譯でもなく此私でさへ四十年も五十年も知らずに過ぎて居つた。此家塾は養福寺の多年の基礎もあり日に／＼盛になつた、子弟の九分通りは町場のもので、一分が士族だ、三丁目、四丁目からは鶴屋の角さん、宍戸屋の新さん、荷鞍屋(小鍛冶?)の龜さん、己之さん、足袋伊勢屋の安さん、高木屋佐野屋、太丸屋、阿部屋、竹屋十一屋さん、二丁目からは茗荷屋、一丁からは仙臺

記馬上才二氏は昨日平着午後一時五十分で着任した

御成り記念

二師團長官殿下御成り記念のため工費八千圓を投じて建築中であつた豊間小學校講堂新築工事は來る二十五日頃落成するので明年元旦四方拜を卜して盛大なる竣工祝賀式を舉行することに

産蘭統制の反對

益々火の手猛烈

平町から代表五名上京

昨日政府の産蘭處理法案反對の協議會を九友ホールで協議した平蘭業組合は左記の反對決議文を可決したが更に來る十七日組合長平町一丁目白土貞藏氏方に實行委員會を開き五名の代表者を選び翌十八日東京、全國産蘭業聯合會と協力して主務省に反對陳情を行ふと日本中央産蘭會へ諮問の産蘭處理統制案は吾人蘭業に關係する業者全部を營業不能に陥らしむるものと認め本組合は茲に絶對反對を表明す

貯金額は

本縣第二位

平郵便局で最近調査した同局及び市内三局の郵便貯金成績は加入者が三萬一千五百三十三名、金額三百八十二萬圓に達してゐるが福島は四萬九千二百二十一名、五百八十四萬圓、若松は四萬七千三百三名、三百七十一萬五千圓、郡山は四萬四千一百一十名、三百二十九萬四千圓であるが加入者數は最も少いが金額では若松、郡山を凌駕し本縣二位の成績であるとし市内四局の貯金高は左の如くである

△五圓券八錢△拾圓券十圓
△廿圓券廿五圓券十五錢
△五十圓券廿五錢△百圓券四十錢△五百圓券一圓
△千圓券一圓八十錢

内郷製作品展 内郷村家政女學校は明十六日同遅ながら新製の施行は進められたが、然し縣廳側より見れば其膝元に於ける私學校の繁昌は甚だ邪魔物と思ひもしたのか、明治七年の末父を擧げて學區取締に任命した。父の心は湖心の如く平靜であつたか否やは知るを得なかつたが、時代變遷の潮流を堰き止める事は隱當ならずと思ひしたか折角築上げた家塾否々慕ひ來つた生徒の大部を擧げて之を官學に引渡した。私の兄弟三人も此引渡人數に加へられた。

湯本一夜講習 湯本町商業補習學校生よりなる湯本義士會では十四日の赤穂義士討入記念日に小學校で一夜講習會を催した

平町入學 回出生 △南町七〇 關根政吉氏二女シツ子さん

黄金佛とダイナマ

▽歳末狂燥曲二題

正體見たりナンセンス

物皆慌だし

慌だしく奏でられる歳末狂燥曲の中にこれは變つたナンセンス二題――

▽その一 平町彌宜町日雇業渡邊孫作(三)は去月初旬平第三小學校の田甫道で泥にまみれてドツシリ重

に安置された問題の佛像を取出し勿體なくも小刀を揮つて中味を剥がしたトタンに何んと中身は古錆びた鉛

用心棒ら發覺を恐れて我等を爆弾で要撃せんとするか……と怒り新撰組隨一の

▽その二 昨日永戸村監獄部屋事件の真相調査のため現場に急行した平署渡

してゐるので「愈よ怪しき奴」と糺明の手を進めたとこ何んと同人は植田營林

署の匡救工事に出席する人夫で同日工事に使用した残

の爆發藥類を植田營林署に返却しに行く途中と判明

ヤット安堵の胸を撫で下した一行も餘りの事に開いた

口が閉がらなかつたサウナ

たので「さては監獄部屋の

腹いせから

監獄部屋の訴へ

實は御當人が強か者

〔昨報〕永戸村小玉川隧道工

人夫虐待事件に就ては平署渡部司法主任係りとなり四

家武雄外六名の關係者を召喚して取調べた結果同署に

訴へ出た監獄部屋等の如き問題は全然なく同人は人夫

幹旋料を胡麻化したのみな

したものでその腹いせから

ら十二月の如きは同僚十

名を煽動して怠業を執行東

京某請負組と住込の交渉を

遂げ十三日夜突然四家に對して「暇を呉れ」と強談判を

始めたので傍らにゐた四家

の部下が業を煮やして毆打したものでその腹いせから

なり平町最年少の辯護士

が判明した



明日のラジオ 拾六日 報豫氣天 今晩も明日も北西の風天氣良し

今晩の部

後六、〇〇 子供の時間

本為次

後六、二五 英語講座(七)

後七、三〇 俳諧吉木桃園

後七、五〇 獨唱と管絃樂

新交響樂團練習所より中

繼 獨唱伊藤敦子日本放

送交響樂團

後八、二〇 忠臣藏 週間

後八、二〇 忠臣藏 週間

後八、二〇 忠臣藏 週間

後八、二〇 忠臣藏 週間

後八、二〇 忠臣藏 週間

後八、二〇 忠臣藏 週間

後八、二〇 忠臣藏 週間

後八、二〇 忠臣藏 週間

後八、二〇 忠臣藏 週間

後八、二〇 忠臣藏 週間

後八、二〇 忠臣藏 週間

後八、二〇 忠臣藏 週間

後八、二〇 忠臣藏 週間

後八、二〇 忠臣藏 週間

後八、二〇 忠臣藏 週間

後八、二〇 忠臣藏 週間

後八、二〇 忠臣藏 週間

後八、二〇 忠臣藏 週間

後八、二〇 忠臣藏 週間

後八、二〇 忠臣藏 週間

後八、二〇 忠臣藏 週間

後八、二〇 忠臣藏 週間

後八、二〇 忠臣藏 週間

後八、二〇 忠臣藏 週間

後八、二〇 忠臣藏 週間

後八、二〇 忠臣藏 週間

後八、二〇 忠臣藏 週間

後八、二〇 忠臣藏 週間

平署跡の一偉觀

門傳辯護士の事務所開始

平町辯護士門傳清吾氏は其の高潔な人格が衆目の信頼するものとなり業務日々旺盛を加へ現在の事務所を以つては遂に狹隘を告ぐるに至つた爲め這般來紺屋町平警察署跡の敷地をトして事務所及び自邸を新築中の處此の程コンクリート二層樓洋館の新築成り廣小路の一角に一大偉觀を添えた本日才隼小路の舊居より移轉明日より同氏一流の温情主義を旨とし業務を開始する事となつた

父兄喜ぶ

けふの唱歌會

既報平第一小學校々内唱歌會は今十五日午前十時より同校講堂に於て盛り澤山のプログラムにより續々詰めかけた父兄達を喜ばしたが就中四年黒澤雅君の「ホームニカ獨奏」爆彈三勇士「軍艦行進曲」及び五年渡邊弘道君のピアノ獨奏練習曲等人氣を博した

豚が焼死

提灯置忘れ

植田町宇東水野留次郎方から十四日午前一時頃發火豚小舎一棟を全焼して同三十分鎮火した原因は提灯の置忘れからで損害三十圓尙豚一頭焼死した

毒瓦斯の演習

平青年訓練所は本日午前十時半より小島田圃に於て藤田中尉指導の下に査閲の豫行を

御用聞さ

家人の隙に 現金を盗む

内郷村綴驛前小島雜貨店員内田太平(一)假名は十四日午前九時頃、町仲間町野菜問屋會我初太郎方に御用さ、に行つた際初太郎が便所に立つた隙を見て店頭の錢箱から現金五圓七十錢を窃取逃走したが訴へ出により十五日平署員に逮捕され

裁判所たより

△既報貝泊村中ノ澤引業淺治妻田人村字川平生れ酒井マツヨ(三)が夫の家出から貧苦に迫り愛兒二名を絞殺自殺せんとした殺人事件は平支部荒井豫審判事の取調へ終決し近日中島才判長保りの下に公判を開廷され

歌山縣海草郡山野安太郎外(熊本縣鹿本郡山鹿村有志(札幌)金森傳七郎

後六、〇〇 子供の時間

後六、二五 産業ニュース

後七、三〇 日曜特輯新作

後七、五〇 獨唱合唱管絃

後八、二〇 忠臣藏週間

後八、二〇 忠臣藏週間

後八、二〇 忠臣藏週間

後八、二〇 忠臣藏週間

後八、二〇 忠臣藏週間

後八、二〇 忠臣藏週間

後八、二〇 忠臣藏週間

後八、二〇 忠臣藏週間

後八、二〇 忠臣藏週間

後八、二〇 忠臣藏週間

後八、二〇 忠臣藏週間

後八、二〇 忠臣藏週間

後八、二〇 忠臣藏週間

後八、二〇 忠臣藏週間

後八、二〇 忠臣藏週間



明治太平記

(森無藤録)

(作) 寺島紅史
(畫) 野口紅涯

第拾三回

辻 君 (四)

「君が、それを着てみるのさ」
 「あら、妙ね」
 男の真意を解しかねて、つとそその顔を見詰めた。
 「妙なことはない。それから君の生活はこのローブデヨルターを着る境涯に變るのだ」

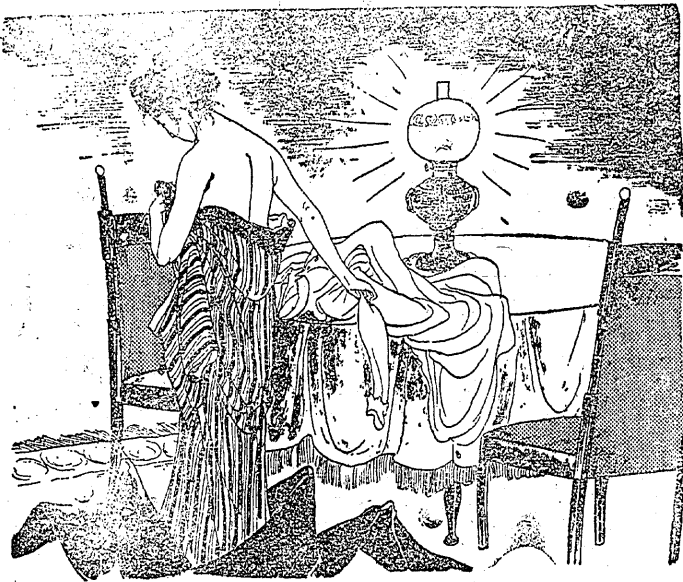
「あ、洋妾の……」
 「左様、今宵から洋妾ぢや……」
 「だつて、あたし、こんなものほんとうに着たことがないんですもの……」

「だから下準備さ、その背格好その容貌ぢや、この中禮服はすゝめ分と似合ふ」
 「ぢや、ちよいと手傳つて下さいな」
 おとわは水色絹の艶な中禮服を弄びながら崩した膝を立てた。

「いけん。せんなの肌を見てはならぬ。ひりて着てみたまへ」
 「困つたわねえ」
 しかたなしにおとわは空解さうな黒襦子の帯を解きはじめた。

「まだか」
 男は置棚のうへのギョーマ

「の花瓶に有情か無情か冷眼をそそぎながらいつた『まだよ、なか〜』」
 『まだか』
 『もう少し……』
 やつと、下着をつけれセツトをいろ／＼に工夫し身につけた。



は惚々と辻君おとわの立姿に見惚れてゐたが
 「だが、そのバクバクした蝦蟇のやうな島田も改めぬといけん」
 「あら、これまで……」
 「やはり、當世流に男子の斷髪と對等に束髪がよいなあ」
 「でも紅毛碧銀は吉原あたりの風俗を好くといふぢやありませんの？……」
 「いや、その吉原にも、このごろぼつ／＼洋装が流行つて參つたぞ、河内樓、山田樓、角海老などその紅洋碧眼の來遊する樓に束髪洋

「まだか」
 「もう、大丈夫」
 男はこちらを向いた。その眼のまへで、水色絹の上着をやらわりと身に纏ふた
 「ほう……美事々々その姿ならあちらの上等社會の婦人にもまけぬぞ」
 コスメチックの白面諸生

装の妓が見受けられるやうになつたといふぞ」
 「まあ、やはり時勢ね」
 おとわは感歎とも慨然ともつかぬつぶやきを洩らした。
 三日経つた同じ夕刻、約束にしたが、辻君おとわははれの水色絹の中禮服に

エナメル靴をこれにいつものやうなバクバクのつぶし島田ではなしにあり餘るほどな髪の毛の周圍をヘアピンで留め、根元に生花をさし金糸の捲きつけた當世流の西洋束髪にして、くつきり袴元に白粉を匂はし、みちがへるほどあでやかな容姿に化けて明石町裏街の和風洋飾の怪しい家を訪れた。
 胸廓を壓してゐるコルセットのくるしさを馴れ馴れ舞踏靴の怪しい足どりで梯子段をトコトコのぼつていつた。
 「今晚は……」
 少々鼻聲で障子のそとから呼びかけると室内には物倦げな返事があつた。

貸切の御用命は

ぜひ、三井自動車部へ!!!

電話六八五番

◎乗合は好間、合戸、澤渡方面行

耳鼻咽喉科専門

大和田醫院

平町市一六(電話七一〇番)

防寒毛メリヤス、陳列

婦人毛皮ショール

どんなお洗濯にも絶対に縮まぬ……

豊富陳列

……毛シャツと毛ズボン

蟲に喰はれぬ毛メリヤス
寒さを知らぬ真綿入婦人着と都腰卷

ツルヤ

磐城共濟病院

(福島縣平町) (電話六四一番)

小兒科	院長 山謙	電話 四四一番
婦人科	部長 賀一忠	電話 三三〇番
外科	部長 坂本眞一	電話 二七二番
耳鼻咽喉科	部長 山謙	
皮膚泌尿器科	部長 山謙	
花柳病科	部長 山謙	
X光線科	部長 山謙	
衛生試驗所	部長 山謙	
藥局	局長 高後利雄	
藥劑科	局長 鈴木孝平	
事務科	部長 鈴木孝平	

◎毎日午前八時ヨリ午後十時迄診療
 ◎夜間診療開始(毎夜午後十時マデ)
 ◎病室完備 入院隨意

全能式電氣治療法

ラヂウム放射透治療法
 紫線療法
 本療法は異なつた八種の電流を使用し心身共にいふべからざる爽快を覺ゆる裡に最高の治療及増進的効果を遺憾なく發揮させる事が出来るのであります。

……適應症……
 神経痛及麻痺、筋肉、關節リウマチス、頭痛、カッケ、ペンク、中耳炎、胃腸病一切、カタコリ、淋病、關節炎、皮膚病一切、動脈硬化症、蓄膿症、ウチミ、白、黒ソコビ、腰痛、手足シビレ、中風、クヂキ、乳腺炎、痔疾一切 其他

伊坂電療院

平町中町二〇

是非!

御融通には御利用下さい
 萬事便利な御相談に應じます

三井質店

平四・電六〇六番